

じやりみち

……仮設支援情報……



第13号

発行日 1996. 3. 7

阪神大震災地元NGO救援連絡会議

仮設住宅支援連絡会

TEL: 078-362-5951 / FAX: 078-362-5957

E-mail: ngoteam@ns.osaka.web.ad.jp

口座番号 01180-6-68556 (郵便振替)

全体会のお知らせ

次回の全体会は3月13日です。場所は毎日新聞神戸ビル3階事務局隣にて。
時間は18:00~20:00です。

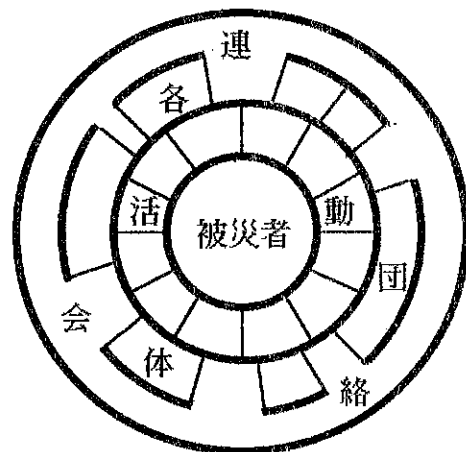
全体会の報告

前回、カードに書いてもらった意見を事務局がまとめ、それらについて意見交換がされました。

まずはじめに、被災者支援を基盤としてそれに付属する様々な問題を解決するためのプロジェクトの列挙をしました。次にそれらを連携しつつ各団体が行っていくということと、それらの活動と同時に被災者の自立のみではなく、関わるもの(ボランティア)の自立も追求するような視点で活動を行うということから、ボランティア・ネットワークとして研修会・学習会(寺子屋)を行い、意識の向上とともにリーダーの育成をしていくことや、他にも活動の検証・方向性の見つめ直しと行政への提言活動のために専門的な意見をまとめる部門としての専門部会の設置、被災地外のネットワークづくりや災害時の対応のシステム化等の構築を目指す災害ボランティアなど、いくつかの取り組みが提案されました。

その中で出てきた意見としては、我々の住みやすい街づくりというものを考えることが結局は様々な課題を見つめていくことになるのではないか、という意見に対し、街づくり=人つきあい(コミュニティづくり)ではないのか、という意見が出されたり、また専門部会という取り組みに対して今までの専門家集団の様なものではなく、もっと我々ボランティアとも住民とも一緒に活動していけるようなものにするべきという意見や、素人の声も大切にしていきたいという意見もありました。

そういった中での取り組み方について話し合うことによって、あえて仮設住宅にこだわっていくことで、そこから見えてくる様々な問題を考えることが仮設住宅入居者のみならず、被災地全体の問題を考えることにもつながるのではないか、という新しい見方につながっていきました。これらを元に事務局がまとめ、次回の全体会でもう一度話し合うことになりました。



事務局で集約したものの
図式化

被災者を中心に各活動があり、それらを各団体が受け持つ。そしてそれをまとめるのが連絡会。あくまで円が基本。ピラミッド型や横並びではない。

がしキは走る

(全国キャラバン日程)

3/9	鳥取市	県民ふれあい会館	13:00~14:30 (村井)	講師 ()
3/10	島根県	松江市いきいきプラザ	14:00~16:00 (村井)	
		ちびく3救援ぐるうぶ島根支部	がしキ・写真展	
3/16	東京都	台東区 千束健康管理センター	14:00~17:00 (村井)	
3/17	静岡県	静岡県社協	がしキ展示 10:00~16:00 (山田)	
3/20	熊本県	大津町	(村井)	
3/22	熊本県		(村井)	
3/23	熊本県	水俣市	(村井)	
3/24	鹿児島	鹿児島市市瀬池運動公園	がしキ・写真展示 (村井)	

事務局からの お知らせ

毎度ながら全国キャラバンのがしキを運ぶ運転手が足りません! 日にちを見て「この日暇です」と言う方、ご一報下さい!!!!

新潟と塩尻市ボランティアセンターからお米が届きます。数に限りがありますので先着順です。
事務局 山田まで。

< 仮設は今... >

中央区編

◆ポトアイト 3100戸（中央区仮設住宅約3700戸）の現状

海辺と言うより、海の中にある人工島であるポトアイトは（六甲アイトも同じだと思います）、街にある仮設よりも条件が厳しいのではないかと思います。このポトアイトには、防波堤よりも北の第1期工事の第1（400戸）・第2（400戸）・第3（130戸）・第4（176戸）と、市民病院南（34戸）の5つの仮設（1140戸）、防波堤より南の第2期（現在も造成中）にあたる第5（430戸）・第6（800戸）・第7（730戸）の3つの仮設（1960戸）に分かれて存在しています。

第1期の方は、高齢者・障害者を優先した第1次募集の入居になるため、平均年齢が65歳以上で70歳代が中心です。それに反し第2期は第5次募集とそれにもれた常時募集組が入居したため、第6仮設でいえば、800戸の内入居戸数は700戸程で、実質生活個数は500～600戸、自治会への住民登録は400戸、そのうち高齢者（60歳以上）は128名といった感じですが、80%以上を50歳代以下の者が占めているのです。この差は、昼間の人口にも現れていて、第1期の方では殆どの人が居るのに対し、第2期では第6仮設で200名程で平日の昼のプログラムで20～30名集まれば最大値と考えられ、高齢者中心のプログラムを行っても第1期と第2期ではかなりの差が出てきます。

◆現在の活動から見るこれから

結論ではありませんが、現状から推測するに、復興が進むにつれ、若い世代はいつまでも仮設に住もうと考えてはいないのではないのでしょうか。高齢者・障害者の人は金銭的にも体力的にも移転する事の出来る状況にある人は少なく、その人達の中には「ここで死ねばよいと考える人も少なくない」との声も聞こえてきます。

復興計画が後手に回り、仮設生活が延びれば延びるほどこういった考えの人が増えてくるのではないかという思いがします。

日本自体も高齢化社会に突入するこの時、仮設に現れてくるこの様な事柄は、これからの日本社会全体の問題を浮き彫りにしているのではないのでしょうか。ここでの行政の政策判断が盲く成されるのなら、住み良い日本と言えるのかも知れませんが、現状を見ている限りその様な兆しは私には見えてきません。「がんばろう神戸」ではなく「がんばろう日本」ではないのでしょうか……？

現段階で考えられる事として、ホームヘルプ制度を見直し、地域内相互扶助を充実することが高齢者・障害者対策になるのではと考えています。ポトアイトはポトアイトで、仮設住民と従来の住民とでお互いに助け合うことが出来るような制度があれば、新しい「街づくり」の1つとして考える事の手助けになるのでは、と思います。

PEACE WAVE 代表：戸嶋 凡兵

イベントコーナー

★週末ボランティア

- 3/16・23・30 仮設住宅訪問(14:00～16:30) 地下鉄西神中央駅 13:00集合
- 3/10(日) 「メシアとパン四郎」コンサート 北区区民センター すずらんホール
13:00～ / 当日1000円高校生以下無料
- 3/17(日) 「地震まつり」 神戸市役所前広場にて 10:00～16:00
- 3/20(水) 「人間復興・県民集会」 大倉山体育館周辺にて 11:00～16:00
以上 TEL/FAX 078-795-6499 TOJO

募集！

- 1 カーボランティア（車による体の不自由な方の送迎）による被災者の法律・健康相談のお手伝い
- 2 県外避難者の搜索活動
- 3 被災者への公的補償の実現運動

◆茶話やかデント ポプリを楽しもう！

- 3/11(月) 福井池公園
- 3/19(火) 川井公園
- 3/27(水) 御影公園
- 問い合わせ 東灘・地域助け合いネットワーク
TEL:078-843-9442

◆ふれあいサロ 健康講座

- 3/14(木) 川島クリニック
・田中医院
- 3/19(火) 河原医院
- 3/22(金) 宮地クリニック
問い合わせ:0720-87-1567 平田

♥講演「介助ボランティア～お年寄り・障害のある方への手伝いの方法～」

- 4/7(日) ユーブ 神戸生活文化センター4F 13:00～16:00
定員30余名(先着順)

講師：神戸大学医学部助教授 篠原英記 氏

問い合わせ・申し込み：TEL271-5306 人材センター (3/23締切)

主催：ボランティア・サークル アクティブ KOBE/フェックス・ステーション青木

◆がんばろうや神戸！フェスティバル

- 3/28(木) バンダさん・ヨアさんと遊ぼう！(人形劇・紙芝居・ゲーム等)
- ルバーランド モザイク・デコ(参加費無料) 11:00～18:00
・明(節付きのお経) & 三波春夫歌謡ショー
- 神戸国際会館ルバーランドプラザ 14:30開演 13:30開場
- *仮設住宅にお住まいのお年寄りをぞ招待致します。
- 問い合わせ：事務局 小島まで

●ボランティア募集

- 1 ボランティアの登録・活動紹介
 - 2 ボランティア依頼の受け付け
 - 3 ボランティア講座・研修等の開催
- 以上興味のある方はTEL078-579-3251 長田ボランティアセンター

▲ヨハネ会入浴サービスのご案内

移動入浴車が家庭訪問し、入浴介助サービス。

*対象

- ・神戸市内に住む重度身体障害者（肢体障1、2級）
- ・おおむね65歳以上の寝たきり老人の方。
- ・入浴する事を本人が希望し、家族が同意されている方。（ただし、医師の診察で入浴可能と認められる方に限る。）

入浴介助サービスボランティアも募集中。是非ご連絡下さい。

問い合わせ：078-731-6535（須磨区）徳田・佐々木・嶋田

▼平成8年度社会福祉助成金のお知らせ

- 1) 応募資格：日本国内に籍をおき、福祉活動を行う団体・ボランティアグループ（法人格の有無を問わない）
- 2) 対象事業：主として障害者の在宅福祉に関する事業。（老人福祉関係の事業は除く）
- 3) 援助金額：原則として1案件100万円以内、総額4000万円。

書類提出期限 平成8年3月31日（消印分）

詳細は 財団法人安田火災記念財団 事務局

TEL:03-3349-3130 FAX03-3349-3133